

小学校統合準備委員会が設立されました

平成28年度の岡山小学校と戸狩小学校の統合に必要な事項を検討するため、飯山市立岡山小・戸狩小学校統合準備委員会が5月14日(木)に設立されました。

委員会は地元区長をはじめ、学校関係者、PTA等で組織され、委員長には岡山小・小林治雄校長が、副委員長には戸狩小・清水常寿校長がそれぞれ選出されました。

また、委員会の中に総務・通学部会、教育部会、PTA部会の3つの部会が設けられ、部会ごとに統合に向けた検討・調整を行っていきます。



飯山で暮らす喜びを感じながら、夢と活力に満ちた住みよい地域社会を目指す

飯山市社会教育委員の紹介

平成27年度飯山市社会教育委員の皆さん(任期・平成27年4月1日～平成29年3月31日)をご紹介します。

社会教育委員は、社会教育法(昭和24年法律第207号)により、地域の実情に応じた社会教育行政を行うため、社会教育に関する諸計画を立案したり、教育委員会の諮問に対して意見を述べたりするなどの職務を行っていただいています。

- | | |
|------|-------|
| 代表 | 丸山 茂彦 |
| 職務代理 | 米持 五郎 |
| 委員 | 清水 常寿 |
| 委員 | 森崎 鉄兵 |
| 委員 | 藤田波留美 |
| 委員 | 大熊 一郎 |
| 委員 | 丸山 明美 |
- (敬称略)

全日本スキー連盟から感謝状が贈呈されました

公益財団法人 全日本スキー連盟創立90周年記念式典が、4月26日に東京で開催されました。

この記念式典において、ワールドカップ・全日本選手権大会開催地として飯山市に感謝状が贈られました。飯山市では、昭和63年から通算6回、フリースタイルワールドカップが斑尾で、平成16年、20年にワールドカップBノルディックコンバインド大会が開催されています。

加盟団体である長野県スキー連盟からは、功労者として副会長を3期6年、また、長野オリンピック組織委員会事務局を務められた前飯山市スキークラブ会長の佐藤俊平さんが表彰されました。なお、飯山市に贈られた賞状および記念品は市役所1階入口正面のガラスケースに展示してありますのでご覧ください。

しあわせ信州移動知事室

5月21日(木)しあわせ信州移動知事室として、秋津小学校と城南中学校に阿部県知事が来校されました。

午前には訪問した秋津小学校では、地域住民の指導による炭焼きや巣箱づくり、シイタケの駒打ちなど、森林環境学習に取り組んでいます。この日は、6学年児童と一緒に、イロハモミジの枝を使った手作り時計の製作を行いました。質問タイムでは、「どうして知事になったのですか」等の質問に対し、真摯にお答えいただきました。

午後は城南中学校で、中高交流学力向上事業について先生方と意見交換を行いました。



児童と一緒に手作り時計を作成する阿部知事

春の遠足に行きました

(しんやま保育園)

五月晴れのさわやかな日、子どもたちは木島平村、ケヤキの森公園へ遠足に行きました。

朝、バスに乗り込み、さあ出発。広い芝生をのびのび駆け回ったり、滑り台やアスレチックで思いきり遊びました。お昼には待ちに待ったお弁当。「アンパンマン入ってる」「デザートはメロン」「見て、お顔のおにぎり」など、ふたを開けると同時に自慢げに見せてくれました。愛情いっぱいのお弁当、ほおぼる表情は皆ピカピカ笑顔でした。

雲一つない青空と、白い雪をかぶった妙高山を遠くに見る最高の景色の中、春の遠足を大いに満喫した子どもたちでした。



講師 松島恒志氏

(佐久市教育委員会 主幹指導主事)

子どもたちのスマホ・タブレット機器等への依存傾向が進み、生活リズムの乱れが起きたり、ネット上のいじめや犯罪に巻き込まれたりする心配が高まっています。子どもたちを守るために、保護者を含めた地域社会の大人が、どのように考え行動したらよいかを学びます。

“情報モラル研修会”

「メディア漬けを改善し、子どもらしく育てたい」

7月4日(土) 13:30～15:30 (開場 13:00)

会場 飯山市公民館2階 講堂 (入場無料)

主催 長野県生涯学習センター(移動講座)・飯山市教育委員会

対象 一般市民、社会教育関係者、青少年育成補導委員会、子ども会育成連絡協議会、教職員、PTA、保護者等どなたでも

いきいき男女共同参画

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。

平成27年度内閣府キャッチフレーズ「地域力×女性力=無限大の未来」



男女共同参画社会基本法の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」として国が提唱しています。男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、一人ひとりの取り組みが必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみましょう。

「男女共同参画」は、男性にとっても生きがいのある社会を目指す上で重要な課題です。例えば、このような経験はありませんか。
・毎日残業が多く、仕事と生活のバランスが取りにくい。
・育児休業の取得を言い出しにくい職場の雰囲気があった。
性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制などの働き方の見直しによって、男性にとっても地域や家庭へ参画しやすい環境づくりが求められます。

箱「公正な採用選考」について

人 学習シリーズ

飯山公共職業安定所長

山際 章一

就職は、ひとりの人間にとって人生の中で大きな節目のひとつです。

職業選択の自由は基本的人権の一つであり、事業主の採用の決定にあたっては、職務を遂行するために必要な本人の適性と能力に基づいて行わなければならない。

この重要な「就職」を決める採用選考は常に公正であることが求められています。

採用選考時において就職差別につながるおそれのある質問を行ったり、不要な書類の提出を求めると、不適切な事象があると絶たない状況にあります。

また、最近では「聞いてはいいけない」といわれているのだが、「前向きをした上であえて不適切な質問をするという悪質な事例も見受けられます。」

公正な採用とは、事業主の皆さま方に人権問題に対する正しい理解と認識を深めていただき、新規学校卒業予定者

の採用、一般の採用にかかわらず、それぞれの採用において、本籍や家族問題など本人に責任のない事項や思想、生活信条、宗教など本来自由であるべき事項を基準とすることなく、職務を遂行するために必要な適性と能力のみを基準として採否を決定していただくというものです。

特に新規学校卒業予定者にとって、就職は学校生活から新たな職業生活に入る人生の重大な転機となるものであり、採用選考が適切に行われるかどうかによって、将来が大きく左右されることにもなります。事業主の皆さま方には、公正な採用選考について理解と認識を深めていただくとともに、プライバシーに配慮し「相手を思いやる気持ち」での選考をお願いしています。